

県土基盤の構築について

国土形成計画広域地方計画策定に向けて

(自民・無所属・公明議員団／名張市選出) 中森 博文議員

問 三重の将来の幹線道路網を考えると、県央を東西に結ぶ高規格な幹線道路が必要で、県央から伊勢志摩までの活性化のためにも、この実現が不可欠と考えます。

道路構想として、名阪国道の代替路という観点から国直轄の無料自動車専用道路として整備し、伊勢自動車道久居・一志嬉野ICの間から始まり、名張市で分岐し、大阪市内へのアクセスをかんがみ、既存の自動車専用道路の南阪奈道路と第二阪奈道路へつながる二ルートを提案します。

答 これから策定が進められる国の「国土形成計画広域地方計画」に向け、「第二名阪道路（仮称）」の構想を含めた道路整備について、知事のご所見をお伺いします。ご提案の構想について、いろいろな視点から貴重なご提案と考えます。



国土形成計画で、全国計画は平成十九年頃までに、各広域ブロックの方針などを定める広域地方計画は全国計画決定後一年以内に決まる予定です。本県は、広域ブロックで中部圏に属し、計画策定の準備が始まりました。今後、近畿圏の計画協議会へも参加していきます。

県は、幹線道路の構想を広域地方計画に位置付けられるよう、事業効果や実現可能性について検討していきます。

その他の質問事項
○ 倫理社会の構築について 他

新エネルギー政策と地域活性化について

豊富な三重県産木材の利活用を

(未来塾／鈴鹿市選出) 末松 則子議員

問 間伐材などを燃料として利活用する「木質バイオマスエネルギー」が注目されており、国においても、林業への積極的な展開に言及しています。東紀州など、多くの林業地域を抱える三重県は、多くの林業地域を抱える三重県産木材をバイオマス資源と見なす、県南にある資源の利活用という観点から、新エネルギー産業政策として取り組みを進めてはいかがでしょうか。

また、コンビニの割りばしに県産材を使用してもらうなど、地域資源を活かした、持続可能なコミュニティのビジネスとして、既存工場への公的融資政策などを利用して再構築し、地域活性化を図ってみたいかがでしょうか。

答 バイオマスについては、県南部においてストーブ燃料ペレット製造施設や発電施設の導入が検討されましたが、コスト高、安定供給先の確保などの問題で事業化に至りませんでした。現在、松阪市内でこれらの問題を解消しながら、バイオマス発電の事業化が進められています。



また、最近、企業の社会貢献意識が高まっており、県産材利用の具体的検討を始めたコンビニもあり、今後、これらの事例を広くPRしながら、県産材の利用拡大に努めていきたいと考えています。

その他の質問事項
○ 児童虐待防止等総合対策について 他

「県民つなげプラン」の評価について

結果に結びつく要因分析の重要性

(新政みえ／鈴鹿市選出) 田中 博議員

問 本年度は「県民しあわせプラン」がスタートして三年目、「戦略計画」における三十項目の重点プログラムの上の仕上げる年度に当たっています。毎年度取り組み方向を県政報告書としてまとめていますが、

この中で、成果が上がった要因は何か、課題が残った要因は何かという要因分析が十分行われていないように思います。分析を行い、要因を明確にすることは、行政の財産を蓄積することになり、簡素で効率的な行政運営を進める三重県にとって最も力を入れるべき点だと思いますが、見解をお聞かせください。



答 「県民しあわせプラン」を着実に推進するための県政運営の仕組みとして「みえ行政経営体系」を構築しており、この中で、行政の説明責任を果たし、政策や行政活動の質の向上を主な目的とし政策評価を行っています。また、県政報告書は、県議会へ報告するとともに、県民の皆さまに公表し、県政への参画を図る手段として活用しています。

評価を次の事業展開に結びつけるためには、要因を明確にし、その内容を分かりやすく示すことが重要であると認識しており、しっかりと取り組んでいきます。

その他の質問事項
○ 財政運営について 他

東紀州地域の活性化について

新たに設置された東紀州対策局の機能発揮を

(自民党青雲会県議員団／旧熊野市選出) 森本 繁史議員

問 東紀州地域は地理的条件から経済基盤が弱く、県民所得も県内最低となっており、若年層の流出、過疎高齢化の進行も相まって、活力が低下しています。

知事は議会の要請に応じ、本年四月から東紀州対策局を設置し、施策の一元化を図りましたが、東紀州の将来像をどう考え、来年度予算編成に向け、どのような振興策を打ち出していくのでしょうか。また、新組織である東紀州対策局が、他部局との施策調整において中心的役割を担うため、どのような仕組みを考えているのでしょうか。

答 県では東紀州地域の目指す姿を「地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済を活性化し、地域社会を健全に維持すること」とし、地域の方々と共に通認識を深めたいと考えています。

東紀州の課題解消へ向けて、高速道路網の整備、農林水産業の高付加価値化、観光振興などを最重要課題として、東紀州対策局を中心に、全庁的に総合調整を行います。

予算編成において、も対策局長を座長とした関係部局長会議で協議を重ね、効果的に対策を進められるよう取り組みます。



丸山千枚田

その他の質問事項
○ 県政における諸課題について 他